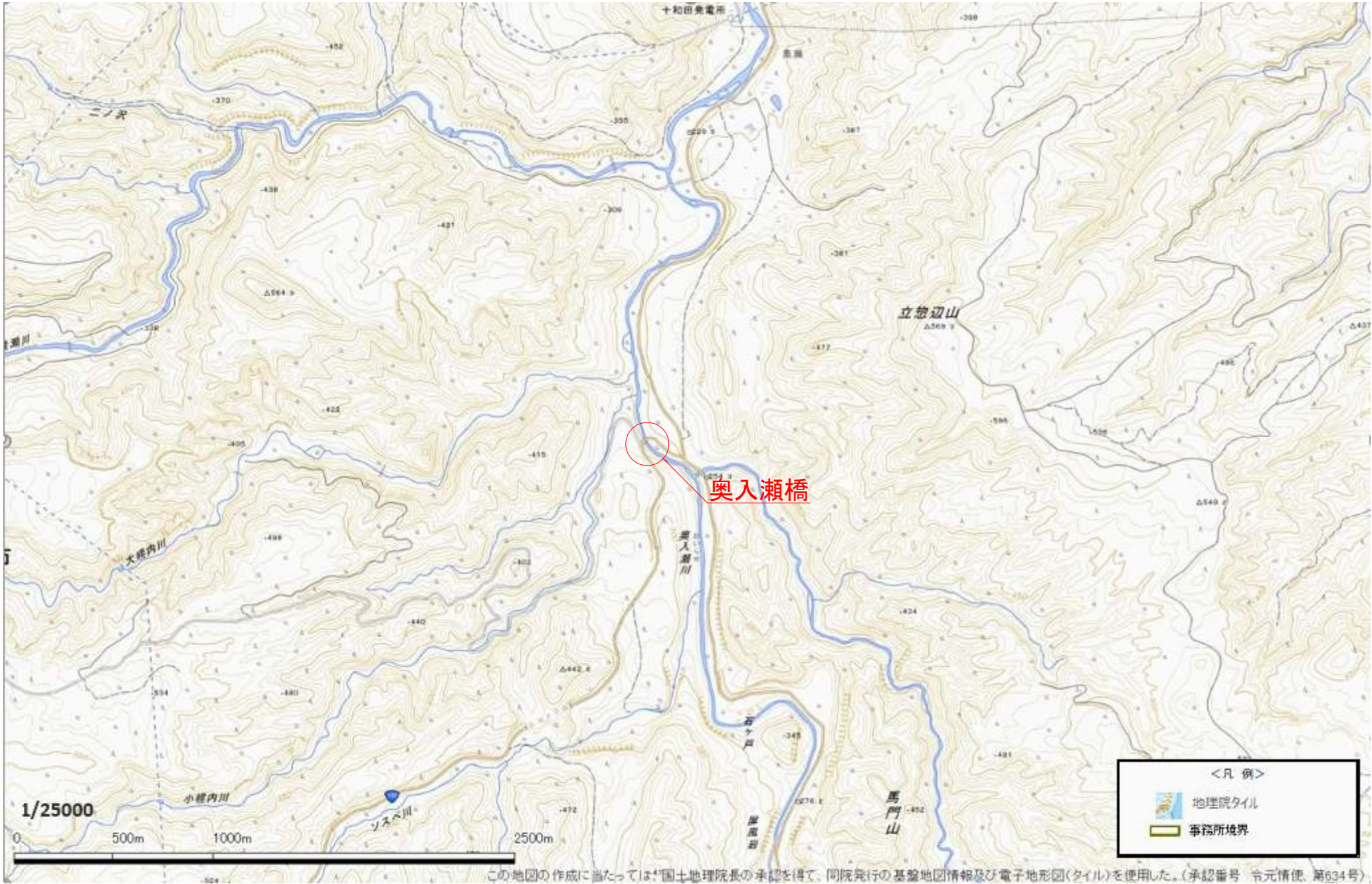


令和 8 年度 橋梁補修 工事			
工事番号	繰メンテ第394-1号		
路線 河川 名	国道102号(奥入瀬橋)		
施工箇所	十和田市大字奥瀬 地内		
位置図		縮尺	図 示
図面番号	—		
上北県土整備事務所			
青 森 県			

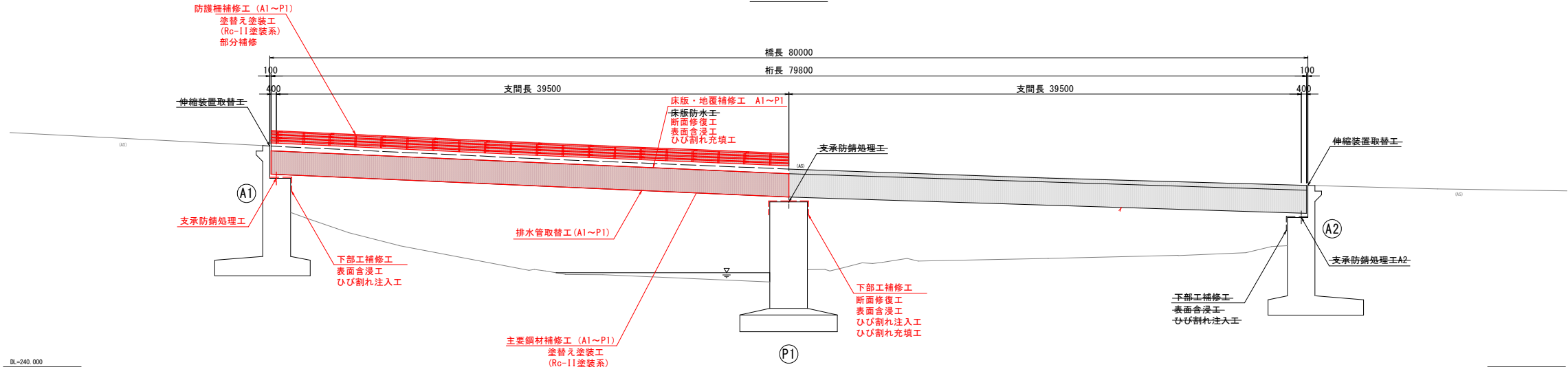
位置図



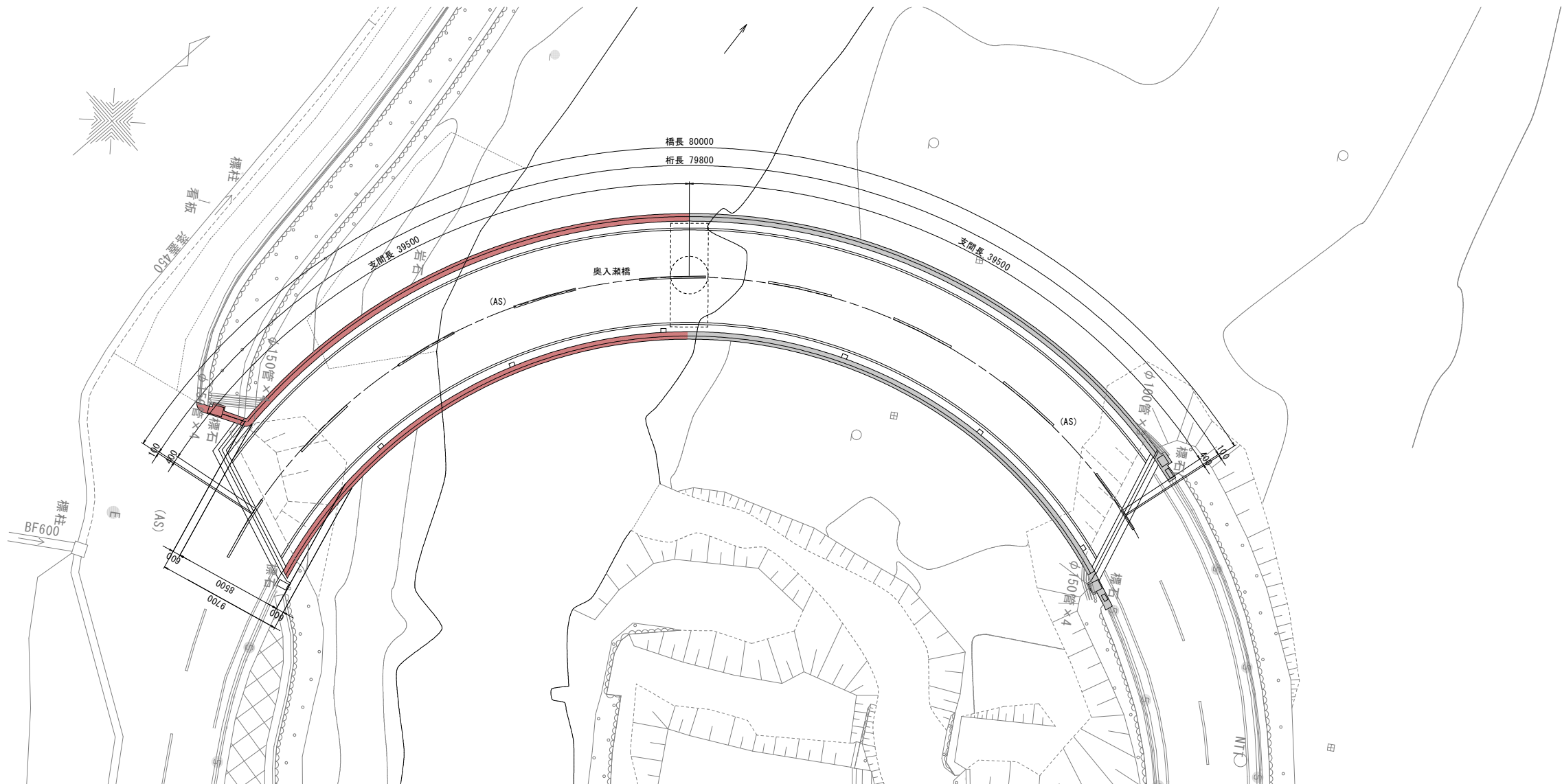
令和8年度			橋梁補修（奥入瀬橋）工事		
工事番号		線メンテ 第394-1号			
路線名		国道102号			
施行箇所		十和田市大字奥瀬 地内			
補修一般図(1/2)		縮尺		図示	
図面番号		13 葉中 1			
上北県土整備事務所					
青 森 県					

補修一般図(1/2)

側面図 S=1:200



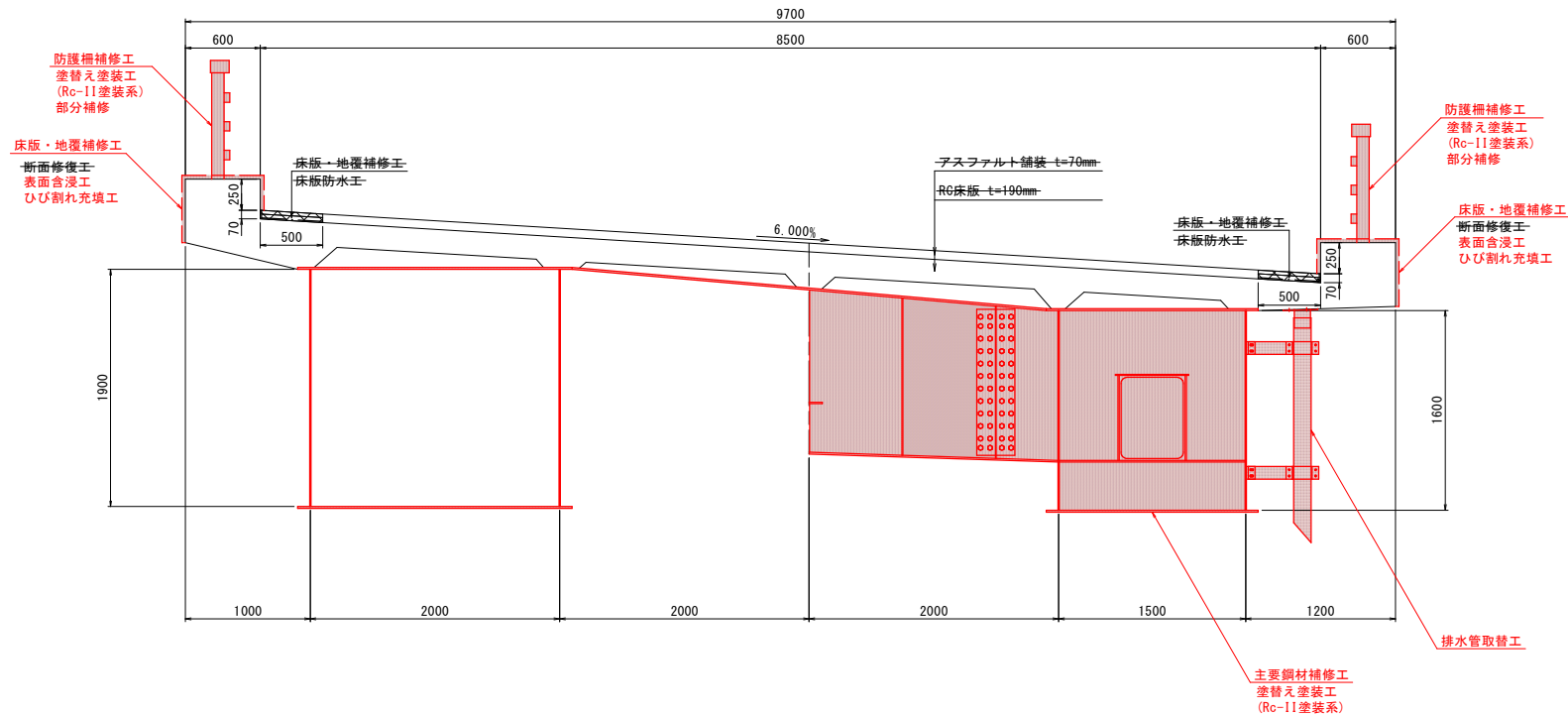
平面図 S=1:200



令和8年度 橋梁補修（奥入瀬橋）工事	
工事番号	緑メンテ 第394-1号
路線名 路 綫 名 河 川	国道102号
施設 施 工 所 箇 所	十和田市大字奥瀬 地内
補修一般図(2/2)	縮尺 図示
図面番号	13 葉中 2
上北県土木整備事務所	
青 森 県	

補修一般図(2/2)

標準横断図 S=1:30



橋梁諸元

	橋梁名	奥入瀬橋(おいらせばし)
橋梁位置	交差物件	奥入瀬川
	路線	国道102号
	位置	十和田市梶内山国有林
	交通量	H22 総台数:252台/12h 大型:29台/12h
	等級	TL-20
	橋長	L = 80.0m (2径間)
上部工	桁長	79.800m
	支間長	1径間目 39.500m 2径間目 39.500m
	全幅員	9.700m
	有効幅員	8.500m
	橋梁形式	2径間連続鋼桁合成曲線箱桁
下部工	適用示方書	道路橋示方書・同解説(昭和48年)
	形式	A1. A2は逆T型橋台、P1はT型橋脚
	基礎	直接基礎
	適用示方書	道路橋示方書・同解説(昭和48年)
	完成年度	昭和58年12月 竣工 (1983年)

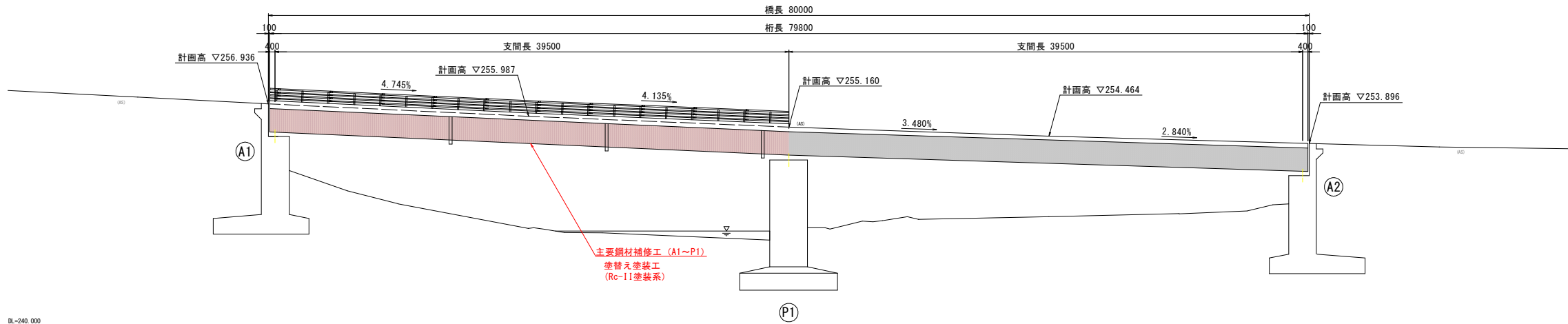
橋梁補修計画一覽表

部 材 名	構 造 種 別	補 修 工 法	工 法 詳 細
主要鋼材 (橋梁下部工)	鋼材	塗替え塗装工 (RC-I1)	既存塗膜の劣化に伴い発錆が見られ、塗膜に鉛、クロムを含有していることから、全面塗装塗替 (RC-I1塗装系) とする。素地調整は塗膜剝離材により既存塗膜を剝離し、発錆部を電動工具によりケレンする。
防護柵	高柵	塗替え塗装工 (RC-I1) 部分補修	経年劣化により、防護柵に塗装剥がれが見られたため全面塗装塗替とする。また、局部的に変形・欠損が見られる箇所は部分補修とする。
伸縮装置	鋼製	伸縮装置取替工	既設の伸縮装置に、止水機能が無いことから、路面排水や土砂が垂れ流し状態となっており、下部工の損傷の原因となっていることから、非排水構造の伸縮装置へ交換する。
床版・地覆	鉄筋コンクリート	床版防水工- 断面修復工 表面含浸工 ひび割れ充填工	床版端部や地覆に遊離石灰が見られ、橋梁長寿命化の観点から、劣化因子である水や塩化物の侵入を防止する事を目的とし、床版防水層を設置する。鉄筋露出、欠損等の損傷について断面修復により補修する。 コンクリート表面に表面含浸材を塗布し、劣化要因の滲入を予防する。 ひび割れ・遊離石灰の損傷についてひび割れ充填工法により補修する。
橋台・橋脚	鉄筋コンクリート	断面修復工 表面含浸工 ひび割れ注入工 ひび割れ充填工	鉄筋露出、欠損等の損傷について断面修復により補修する。 コンクリート表面に表面含浸材を塗布し、劣化要因の滲入を予防する。 0.2mm以下、0.0mm未満のひび割れにはひび割れ注入により補修する。 ひび割れ・遊離石灰の損傷についてひび割れ充填工法により補修する。
支承	繰支承	支承防錆工	支承本体の防錆を図る。
排水管	鋼製	排水管取替工	管全体が発錆しており、特に排水管の根本の腐食が激しいことから、管を切断して鋼管に交換する。

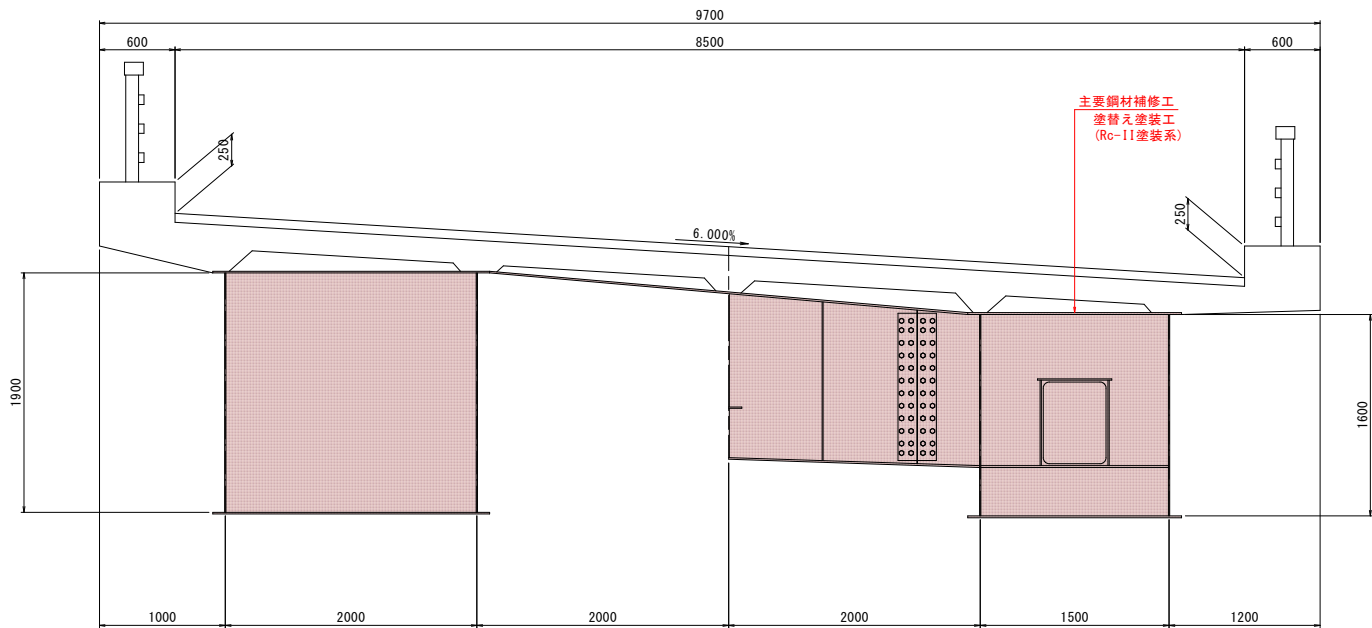
令和8年度 橋梁補修（奥入瀬橋）工事			
工事番号		線メンテ 第394-1号	
路線名		国道102号	
施箇所		十和田市大字奥瀬 地内	
塗替塗装工図		縮尺	図示
図面番号		13 葉中 3	
上北県土整備事務所			
青 森 県			

塗替塗装工図

側面図 S=1:200



標準横断図 S=1:30



塗装仕様

- 橋体工塗装仕様は、鋼道路橋防食便覧（平成26年3月）に準拠し下表のとおりとする。
- 塗装間隔の下限は20℃の場合を示す。温度が低い場合は、塗膜の乾燥状態を調べ、塗膜が硬化乾燥していることを確認してから塗料を塗り重ねること。
- 素地調整により露出させた鋼材面は錆が発生しやすいため、素地調整終了後はできるだけ早く塗付作業を開始すること。

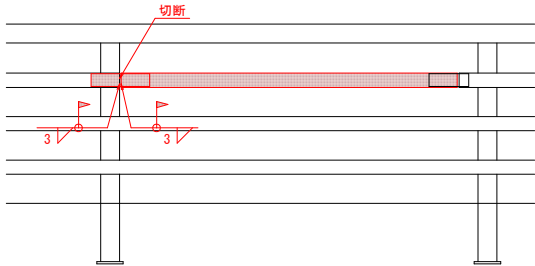
Rc-II塗装系 ※1			
塗装工程	塗 料 名	標準使用量 (g/m ²)	塗装間隔
剥離剤塗布	EPP工法		4時間以内
素地調整	3種ケレンA		
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600g/m ²	
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200g/m ²	1日～10日※2
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200g/m ²	1日～10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140g/m ²	1日～10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120g/m ²	1日～10日

※1：現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。

令和8年度 橋梁補修（奥入瀬橋）工事			
工事番号		緑メンテ 第394-1号	
路線名		国道102号	
施行所		十和田市大字奥瀬 地内	
防護柵補修工図		縮尺	図示
図面番号		13 葉中 4	
上北県土整備事務所			
青 森 県			

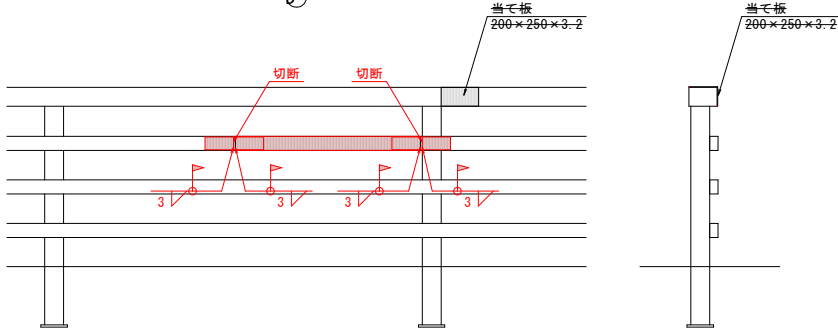
防護柵補修工図

防護柵横断図 S=1:20
部分交換工



- ① 部材交換
1-□ 68×38×3.2×310
1-□ 75×45×3.2×1780
- すみ肉溶接
L=0.480m
(0.075×2+0.045×2)×2箇所

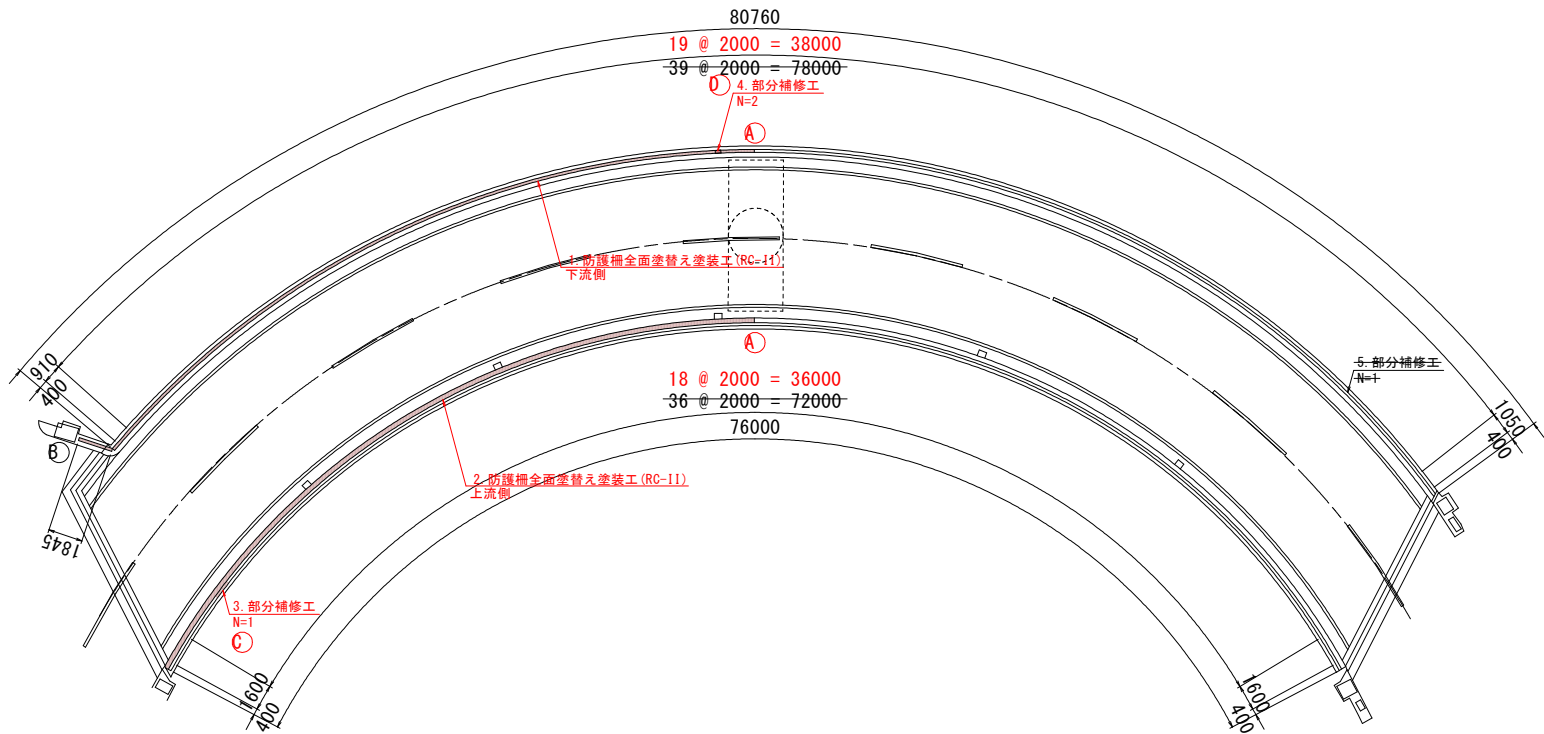
防護柵横断図 S=1:20
部分交換工



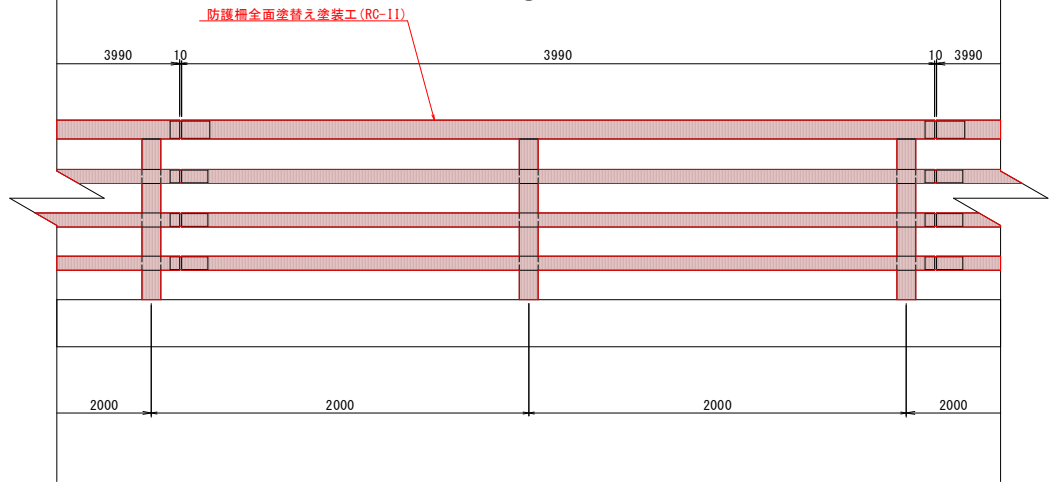
- ① 部材交換
2-□ 68×38×3.2×310
1-□ 75×45×3.2×980
- すみ肉溶接
L=0.960m
(0.075×2+0.045×2)×2箇所×両端

平面図

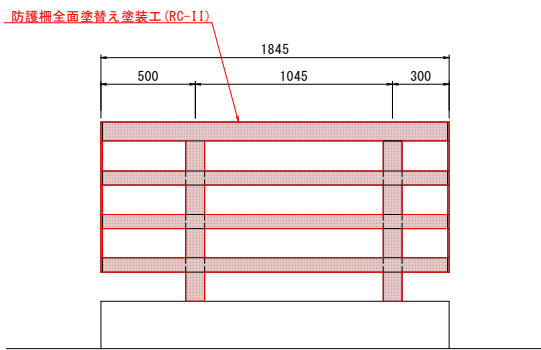
S=1:200



防護柵横断図 S=1:20
標準図

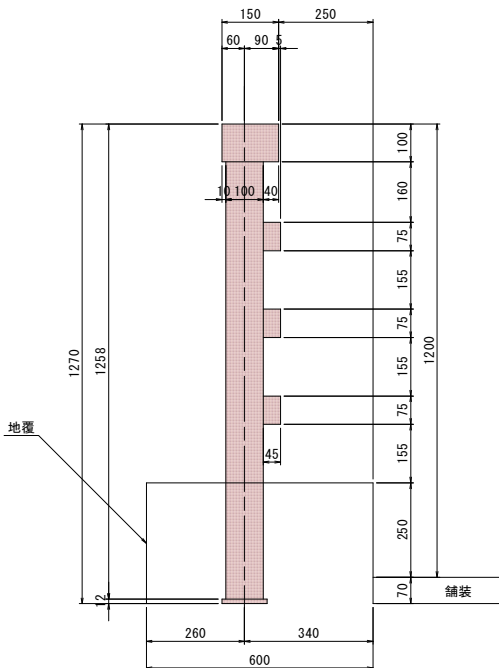


防護柵横断図 S=1:30



柱詳細図

S=1:10



塗装仕様

- ・支柱塗装仕様は、鋼道路橋防食便覧(平成26年3月)に準拠し下表のとおりとする。
- ・塗装間隔の下限は20℃の場合を示す。温度が低い場合は、塗膜の乾燥状態を調べ、塗膜が硬化乾燥していることを確認してから塗料を塗り重ねること。
- ・素地調整により露出させた鋼材面は錆が発生しやすいため、素地調整終了後はできるだけ早く塗付作業を開始すること。

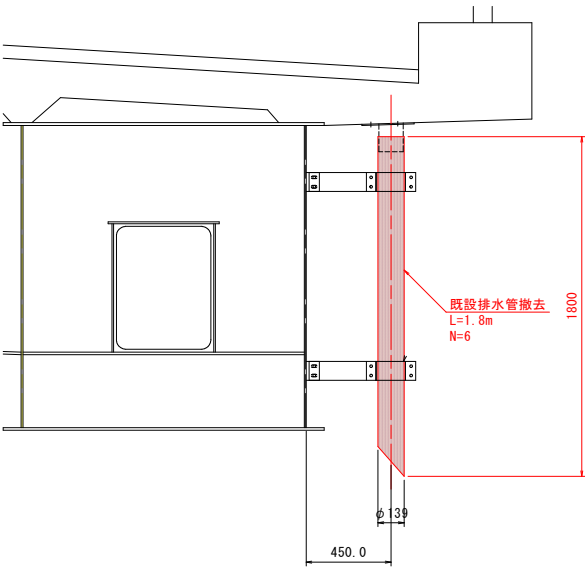
- (特記事項)
1. 図中詳細寸法等は、現地検測のうえ決定すること。

Rc-11 塗装系			
塗装工程	塗料名	標準使用量 (g/m ²)	塗装間隔
剥離剤塗布	EPP工法		
素地調整	3種ケレンA		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600g/m ²	1日～10日※2
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200g/m ²	1日～10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200g/m ²	1日～10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140g/m ²	1日～10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120g/m ²	1日～10日

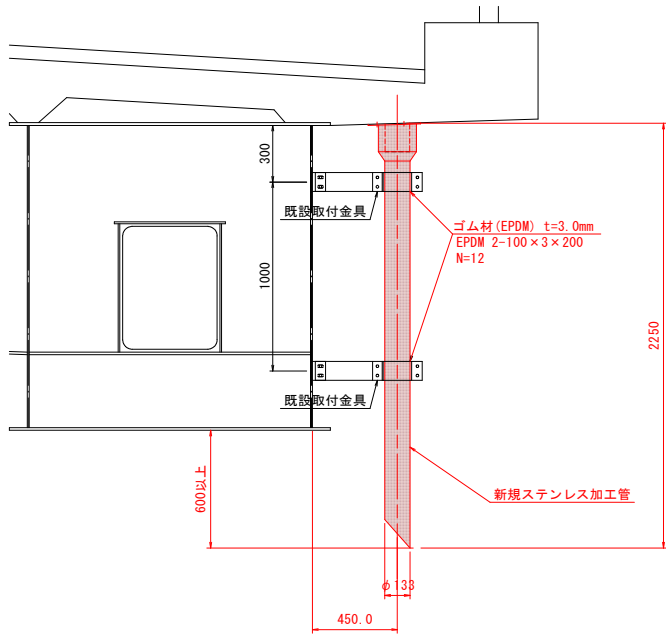
令和8年度 橋梁補修（奥入瀬橋）工事		
工事番号	繰メンテ 第394-1号	
路線名	国道102号	
施工所	十和田市大字奥瀬 地内	
排水装置補修工図	縮尺	図示
図面番号	13	葉中 5
上北県土整備事務所		
青 森 県		

排水装置補修工図

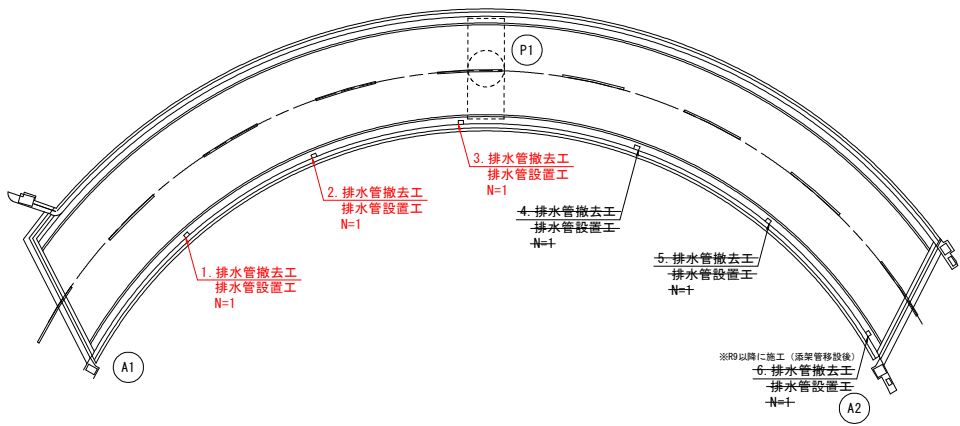
標準横断面 S=1:20
(排水管撤去工)



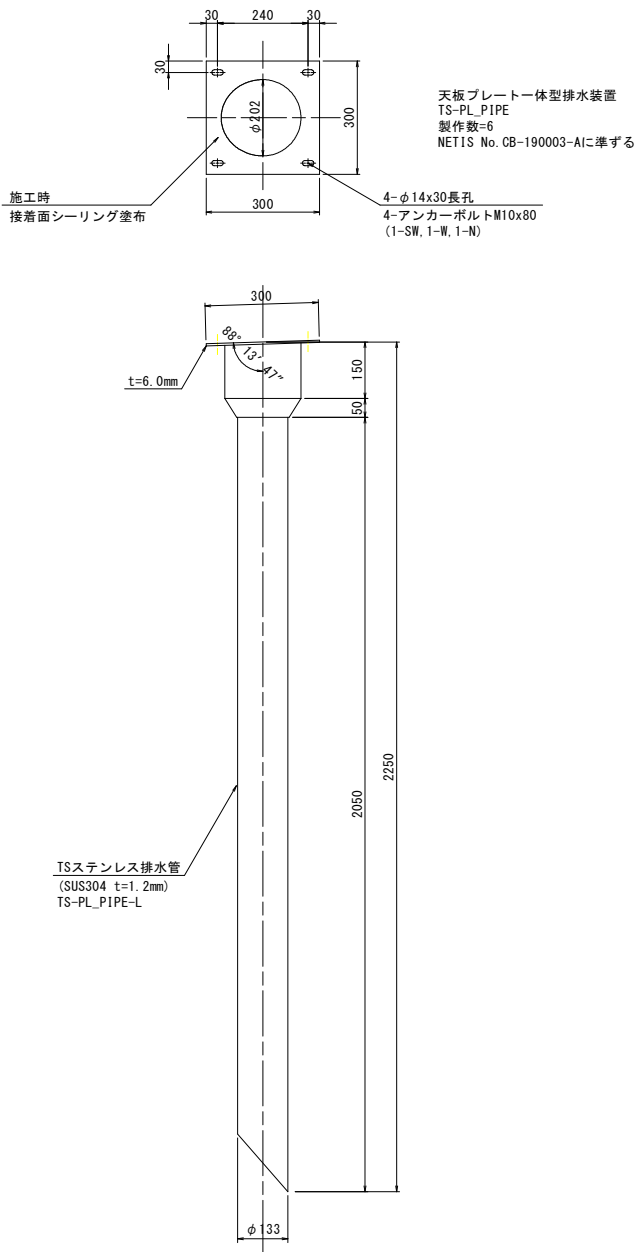
標準横断面 S=1:20
(排水管設置工)



平面図 S=1:300



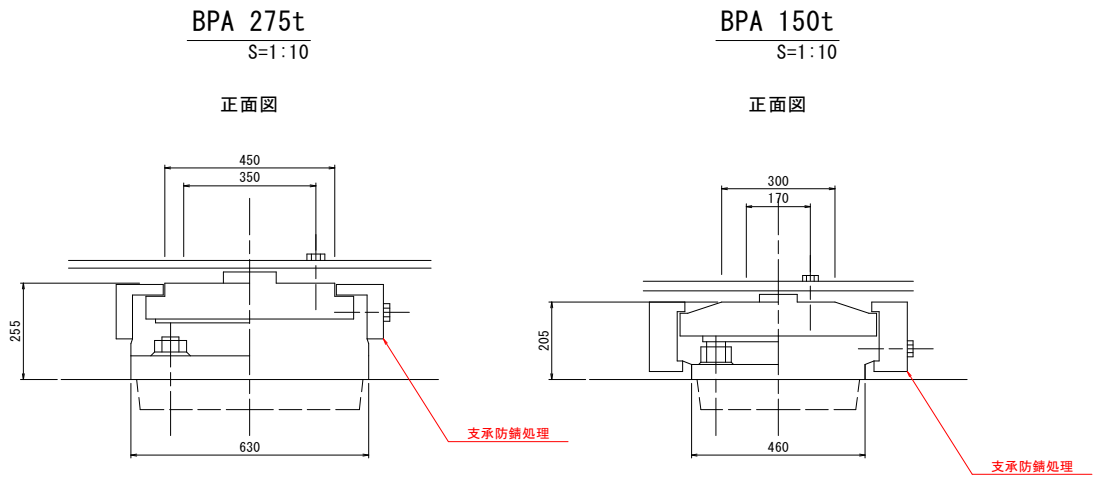
TSステンレス排水装置詳細図 S=1:10



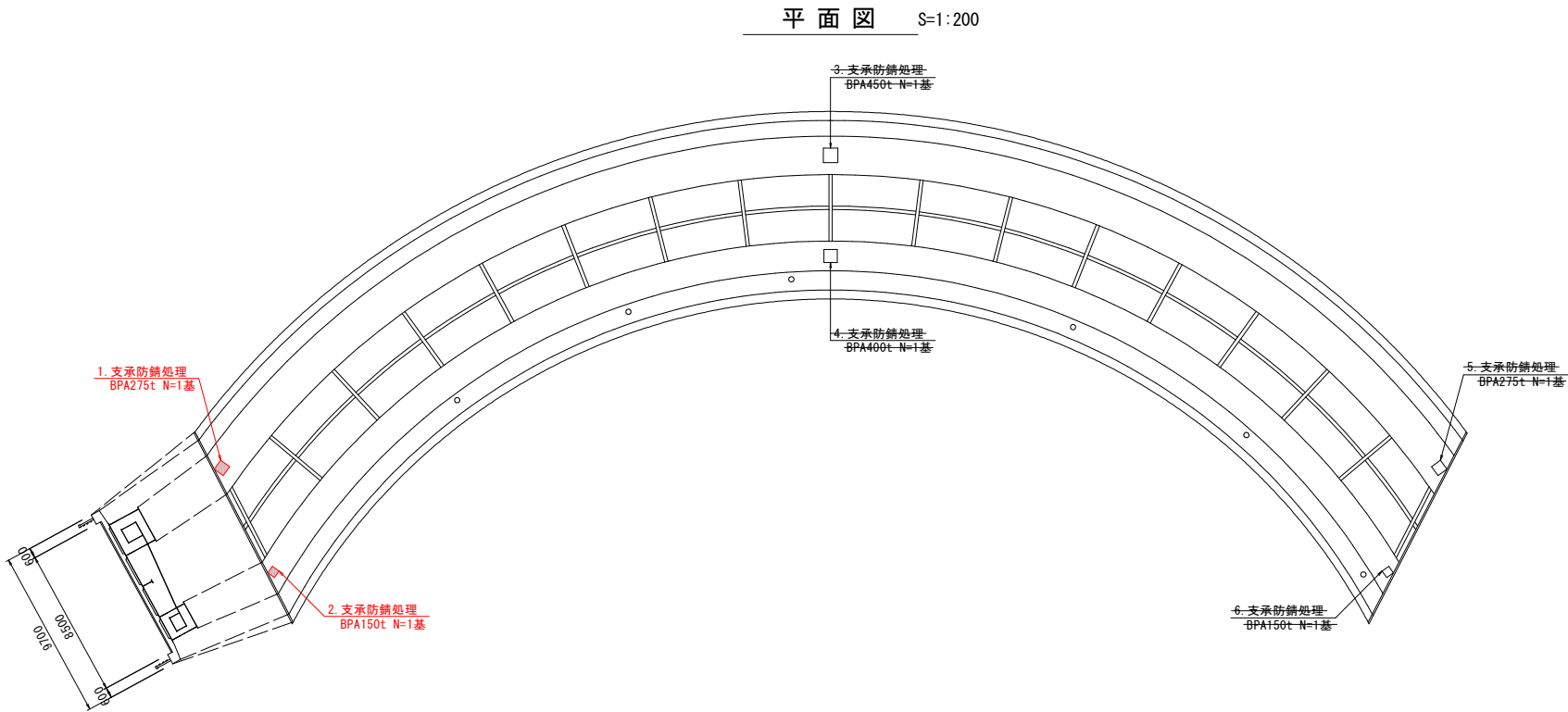
- 注) 1. 特記なき材質はすべてSUS304とする。
2. 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。
3. 天板プレート型排水装置は、NETIS No. CB-190003-AIに準ずる。
4. t=2.0未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し
耐食性向上の措置を講じる。
5. 現地調査にて寸法確定後製作する。

令和8年度			橋梁補修（奥入瀬橋）工事		
工事番号		緑メンテ 第394-1号			
路線名 河川		国道102号			
施行所 箇所		十和田市大字奥瀬 地内			
支承補修工図		縮尺		図示	
図面番号		13 葉中 6			
上北県土整備事務所					
青 森 県					

支承補修工図



塗膜剥離剤塗布面積 計 A=2.7m2



令和8年度			橋梁補修（奥入瀬橋）			工事		
工事番号			繰メンテ 第394-1号					
路線名			国道102号					
河川								
箇所			十和田市大字奥瀬 地内					
下部工補修工図			縮尺			図示		
図面番号			13 葉中 7					
上北県土整備事務所								
青			森			県		

下部工補修工図(1/2)

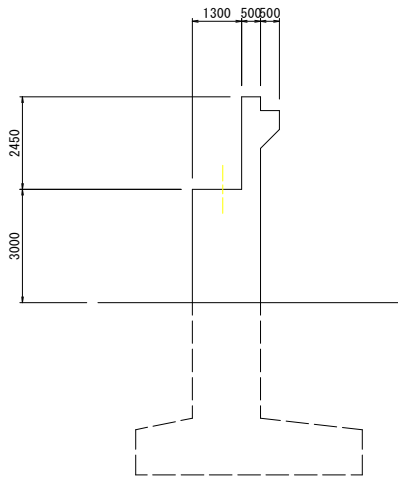
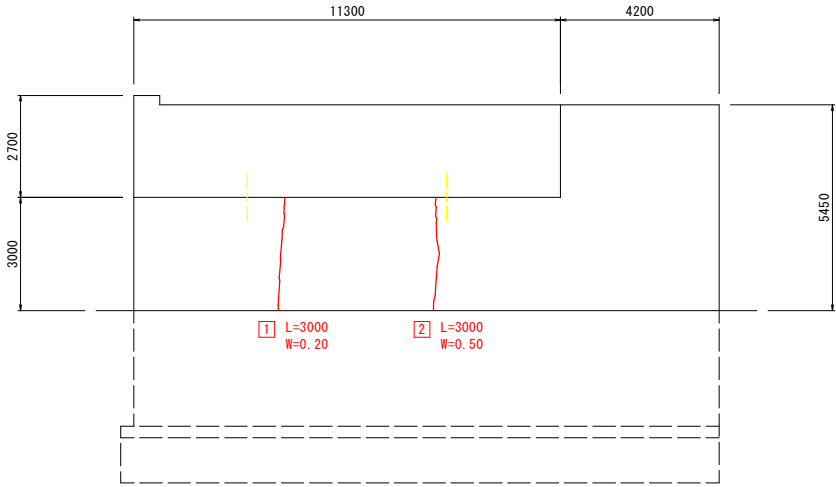
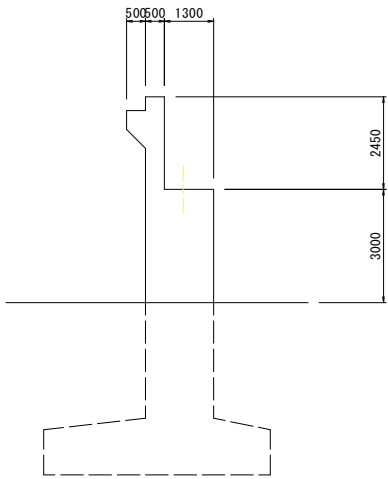
凡例	
	ひびわれ注入工 (エポキシ樹脂系)

A 1 橋 台

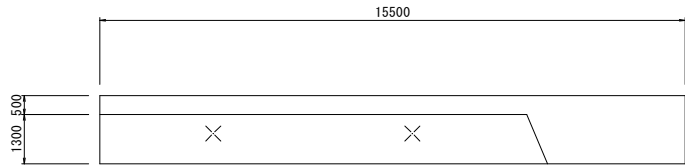
上流側

正面図

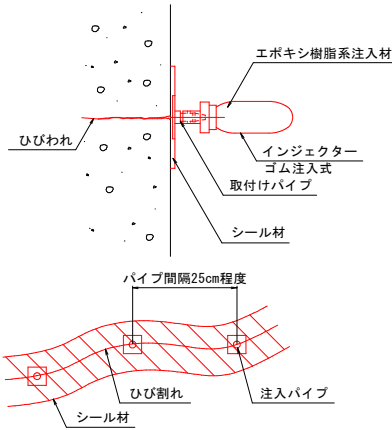
下流側



平面図



ひびわれ注入工詳細図 S=free



ひびわれ注入工 (A1橋台)			
番号	幅 (mm)	長さ (mm)	備考
1	0.2	3000	
2	0.5	3000	
合 計		6000	

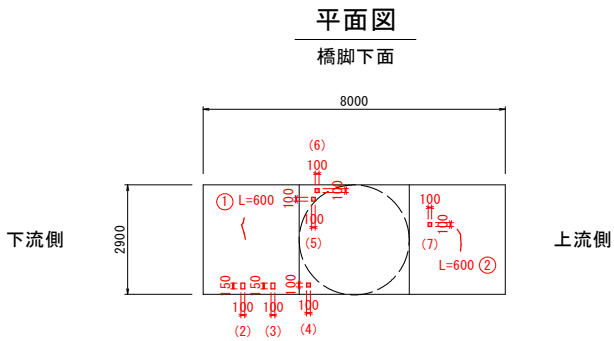
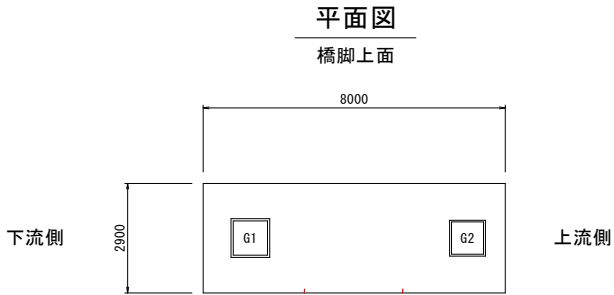
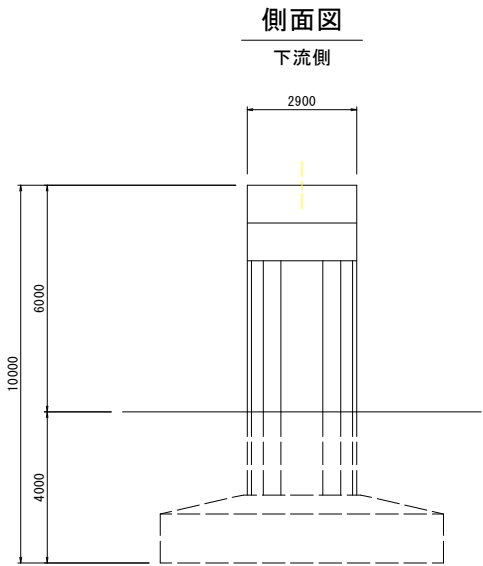
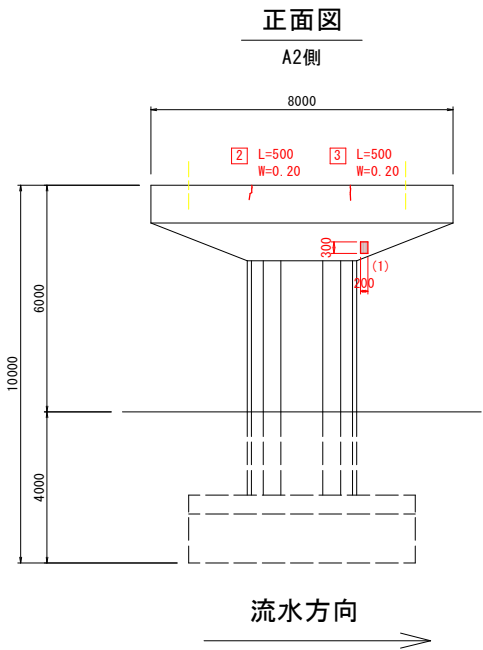
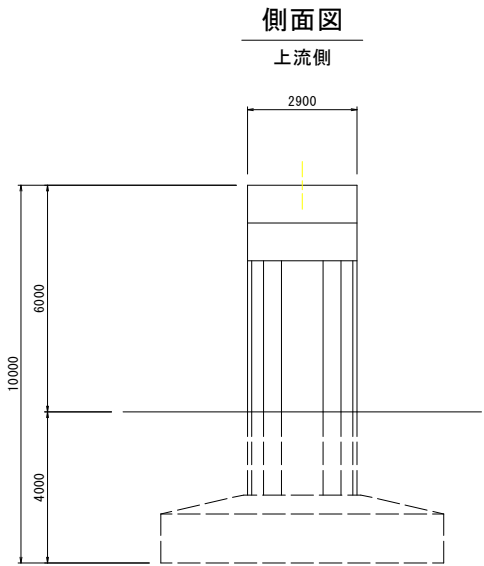
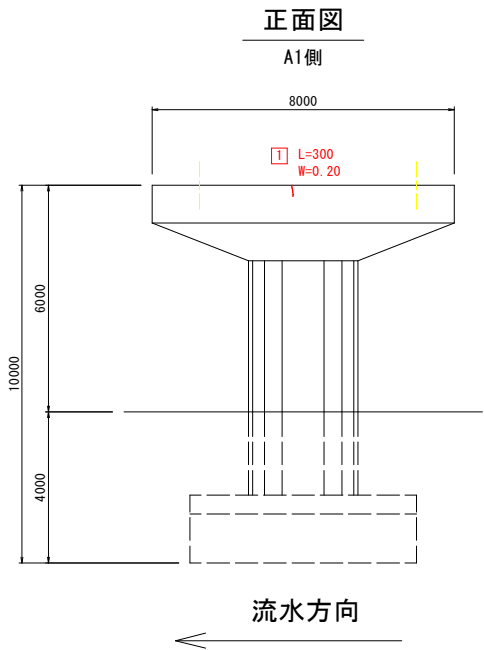
令和8年度 橋梁補修（奥入瀬橋）工事			
工事番号	緑メンテ 第394-1号		
路線名	国道102号		
施行所	十和田市大字奥瀬 地内		
下部工補修工図	縮尺	図示	
図面番号	13	葉中	8
上北県土整備事務所			
青森県			

下部工補修工図 (2/2)

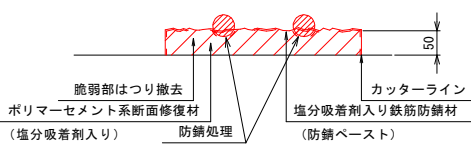
P 1 橋 脚

凡例

	ひびわれ注入工 (エポキシ樹脂系)
	ひびわれ充填工 (エポキシ樹脂系)
	断面修復工 (SSI工法)

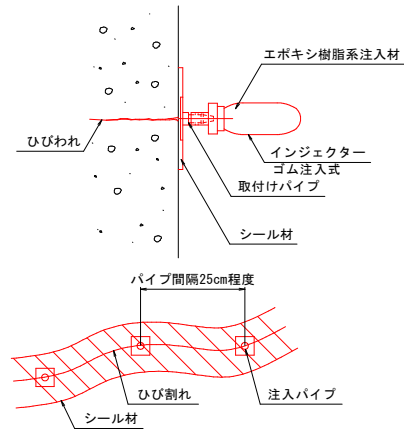


断面修復工詳細 (SSI工法) S=free



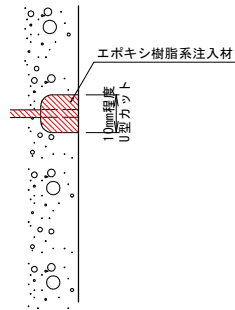
断面修復工集計表 SSI工法 (P1橋脚)							
位置	幅 (mm)	延長 (mm)	深さ (mm)	個数	面積 (m2)	体積 (m3)	備考
(1)	200	300	50	1	0.060	0.00300	
(2)	100	150	50	1	0.015	0.00075	
(3)	100	150	50	1	0.015	0.00075	
(4)	100	100	50	1	0.010	0.00050	
(5)	100	100	50	1	0.010	0.00050	
(6)	100	100	50	1	0.010	0.00050	
(7)	100	100	50	1	0.010	0.00050	
合計					0.130	0.00650	

ひびわれ注入工詳細図 S=free



ひびわれ注入工 (P1橋脚)			
番号	幅 (mm)	長さ (mm)	備考
①	0.2	300	
②	0.2	500	
③	0.2	500	
合 計		1300	

ひびわれ充填工詳細図 S=free



ひびわれ充填工 (P1橋脚)			
番号	幅 (mm)	長さ (mm)	備考
①	-	600	
②	-	600	
合 計		1200	

(特記事項)
1. 図中詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。
2. はつり処理等を行い鉄筋が露出した場合は、鉄筋防錆処理を行うこと。

令和8年度 橋梁補修（奥入瀬橋）工事		
工事番号	緑メンテ 第394-1号	
路線名 河川	国道102号	
施行所 箇所	十和田市大字奥瀬 地内	
地覆・床版補修工図		縮尺 図示
図面番号	13 葉中 9	
上北県土整備事務所		
青 森 県		

地覆・床版補修工図

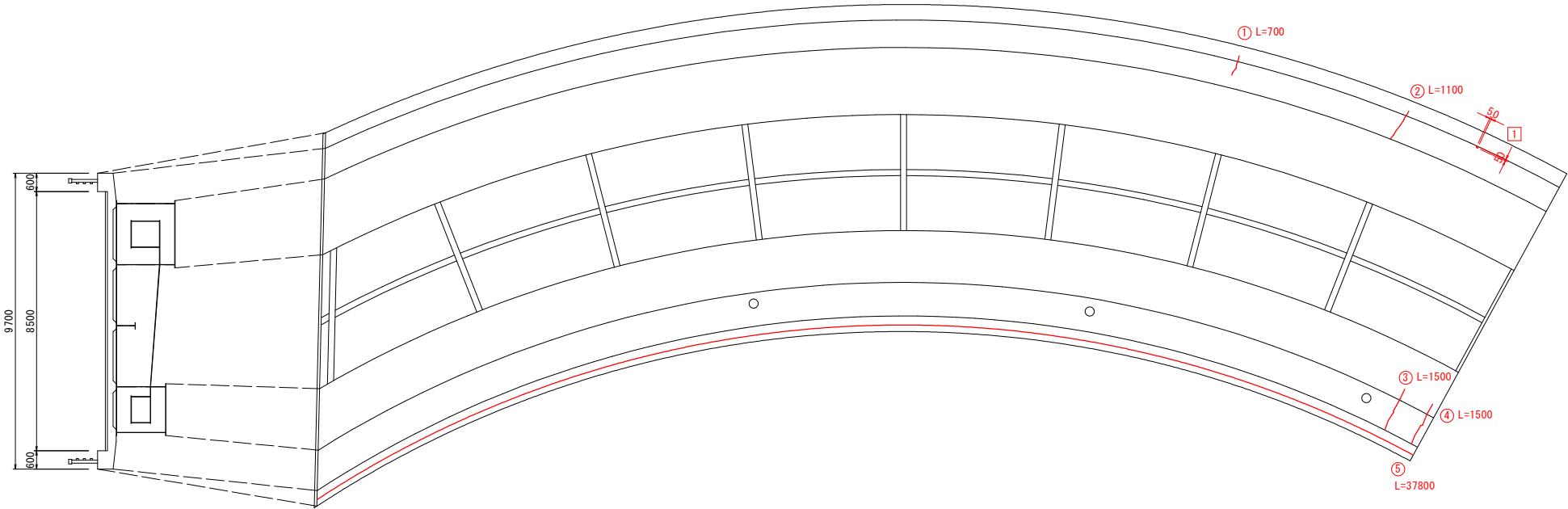
S=1:100

凡例

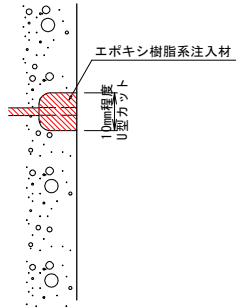
	ひびわれ充填工 (エポキシ樹脂系)
	断面修復工 (左官工, 鉄筋防錆処理無)

正面図

1径間



ひび割れ充填工詳細図 S=free

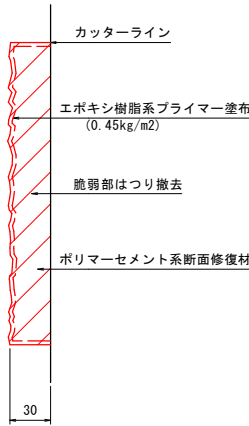


ひびわれ充填工 (地覆・床版1径間目)

番号	幅 (mm)	長さ (mm)
①	-	700
②	-	1100
③	-	1500
④	-	1500
⑤	-	37800
合 計		42600

断面修復工詳細 (左官工) S=free

鉄筋防錆処理無



断面修復工集計表 左官工, 防錆処理無 (地覆・床版1径間目)

位置	幅 (mm)	延長 (mm)	深さ (mm)	個数	面積 (m2)	体積 (m3)
①	50	50	30	1	0.0025	0.000075
合計					0.0025	0.000075

(特記事項)
1. 図中詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。
2. はつり処理等を行い鉄筋が露出した場合は、鉄筋防錆処理を行うこと。

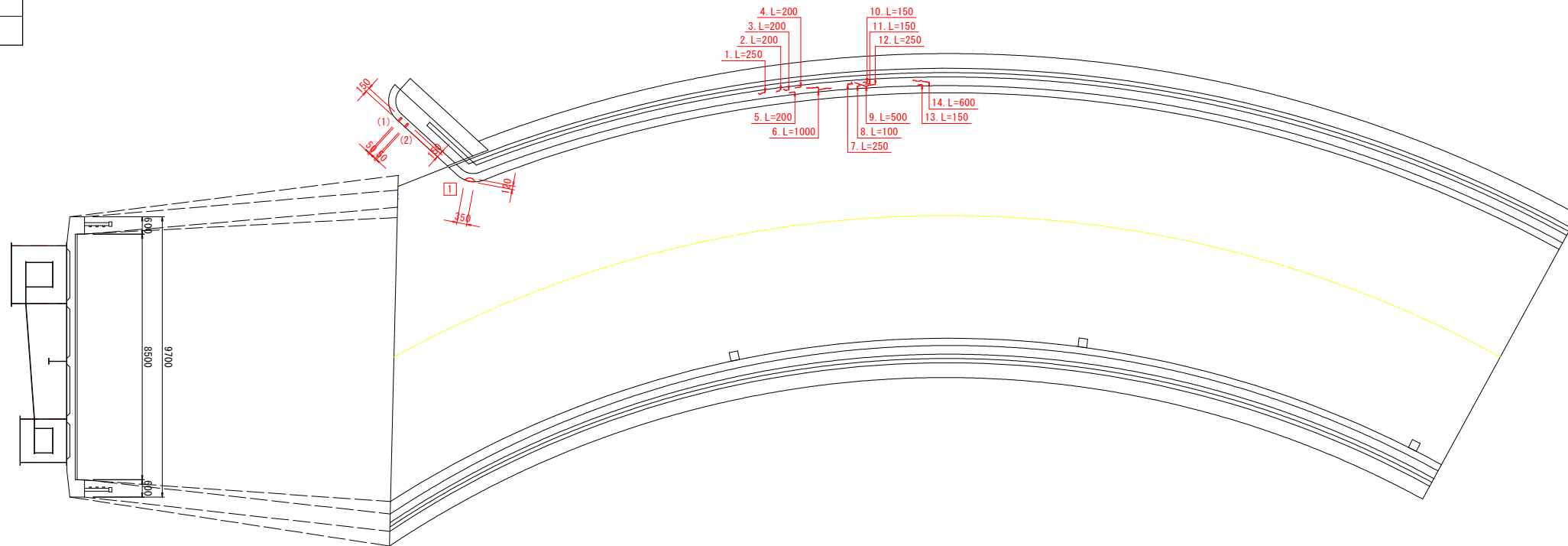
令和8年度		橋梁補修（奥入瀬橋）工事	
工事番号	繰メンテ 第394-1号		
路線名	国道102号		
施工箇所	十和田市大字奥瀬 地内		
橋梁補修工図	縮尺	図示	
図面番号	13 葉中 10		
上北県土整備事務所			
青 森 県			

橋面補修工図 S=1:100

$$S = 1 : 100$$

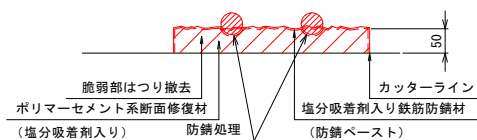
正面図

1 徑間



断面修復工詳細 (SSI 工法)

S=free



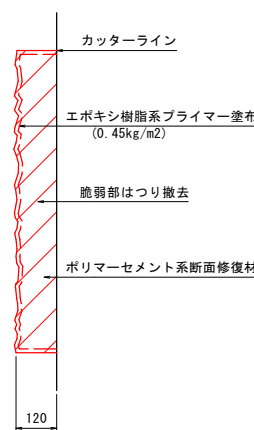
断面修復工集計表 SSI工法(橋面1径間目)

位置	幅 (mm)	延長 (mm)	深さ (mm)	個数	面積 (m ²)	体積 (m ³)
(1)	50	150	50	1	0.0075	0.000375
(2)	50	150	50	1	0.0075	0.000375
合計					0.015	0.000750

断面修復工詳細(左官工)

S=free

鉄筋防錆処理無

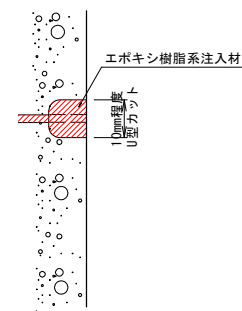


断面修復工集計表 左官工,防錆処理無(橋面1径間目)

位置	幅 (mm)	延長 (mm)	深さ (mm)	個数	面積 (m ²)	体積 (m ³)
1	350	120	120	1	0.042	0.00504
合計					0.042	0.00504

ひび割れ充填工詳細図

S=free



ひびわれ充填工(橋面1径間目)

番号	幅(mm)	長さ(mm)
1	—	250
2	—	200
3	—	200
4	—	200
5	—	200
6	—	1000
7	—	250
8	—	100
9	—	500
10	—	150
11	—	150
12	—	250
13	—	150
14	—	600
合 計		4200

(特記事項)

1. 図中詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。
2. はつり処理等を行い鉄筋が露出した場合は、鉄筋防錆処理を行うこと。

令和8年度 橋梁補修（奥入瀬橋）工事		
工事番号	線メンテ 第394-1号	
路線名 河川	国道102号	
施行 箇所	十和田市大字奥瀬 地内	
橋面表面保護工図	縮尺	図示
図面番号	13 葉中	11
上北県土整備事務所		
青 森 県		

橋面表面保護工図

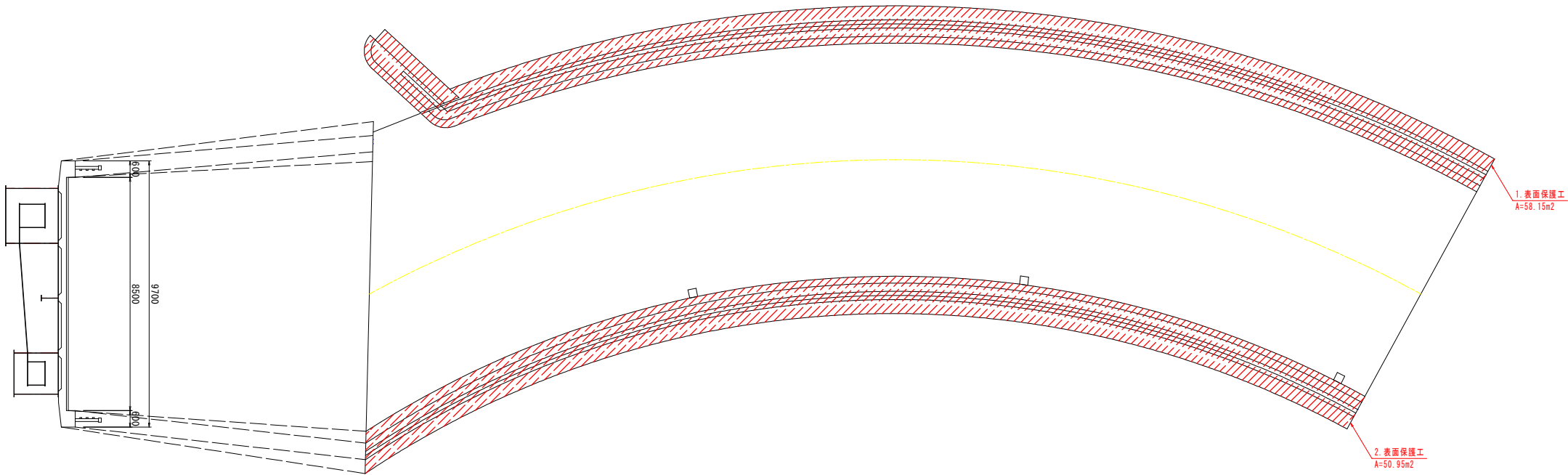
S=1:100

正面図

1径間

凡例

	表面保護工（シラン系）
---	-------------

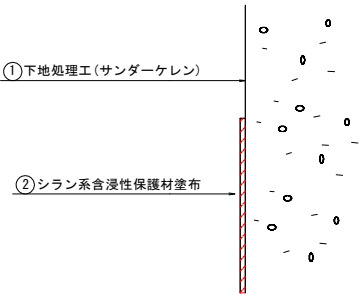


表面保護工仕様 S=free

表面保護工（地覆1径間目）

番号	面積 (m2)
1	58.15
2	50.95
合 計	109.1

※地覆に苔が張り付いているため、取り除いてから表面保護工を行うこと。
苔を取り除いた際に新たに損傷が見つかった場合は補修対策を行うこと。

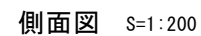


（特記事項）
1. 図中詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。

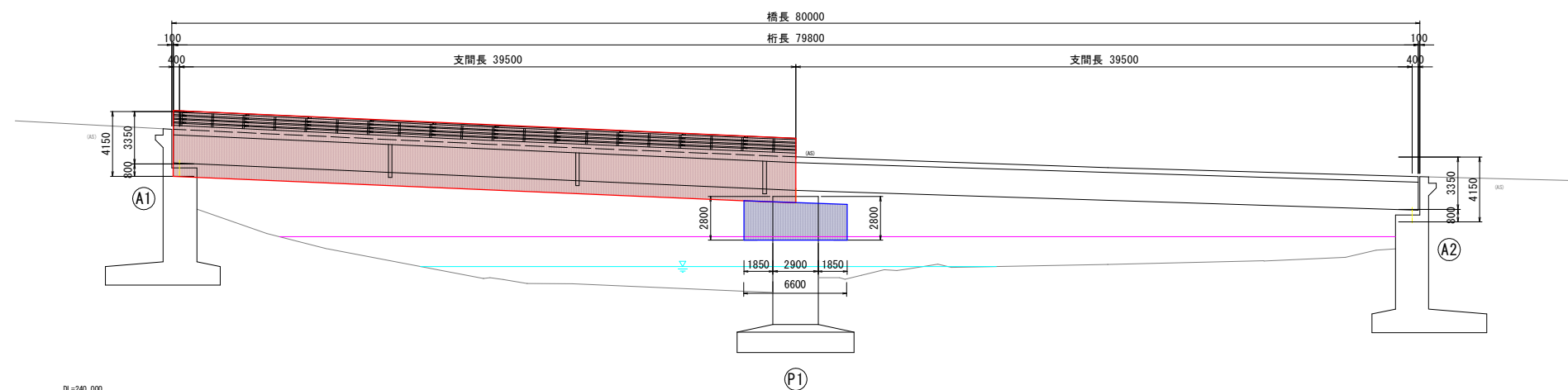
凡例

	奥入瀬橋
	国有林
	吊足場

平面图 S=1:200



凡例	
	標準吊足場
	橋脚部吊足場 ※2
	計画高水位高さ（非出水期） ▽248.205
	計画高水位＋余裕高 ▽250.500

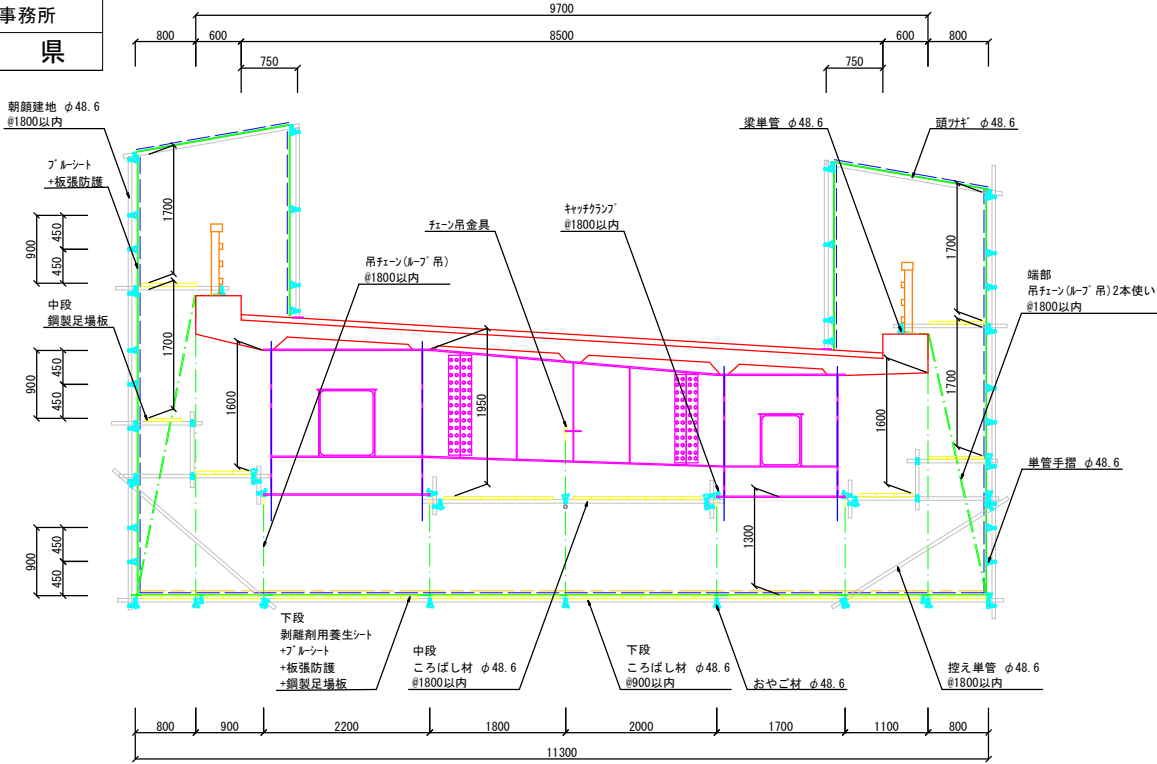


令和7年度 橋梁補修（奥入瀬橋）工事	
工事番号	緑メンテ 第394-1号
路線名	国道102号
箇所	十和田市大字奥瀬 地内
仮設工参考図	縮尺 図示
図面番号	13 葉中 13
上北県土整備事務所	
青 森 県	

仮設工参考図

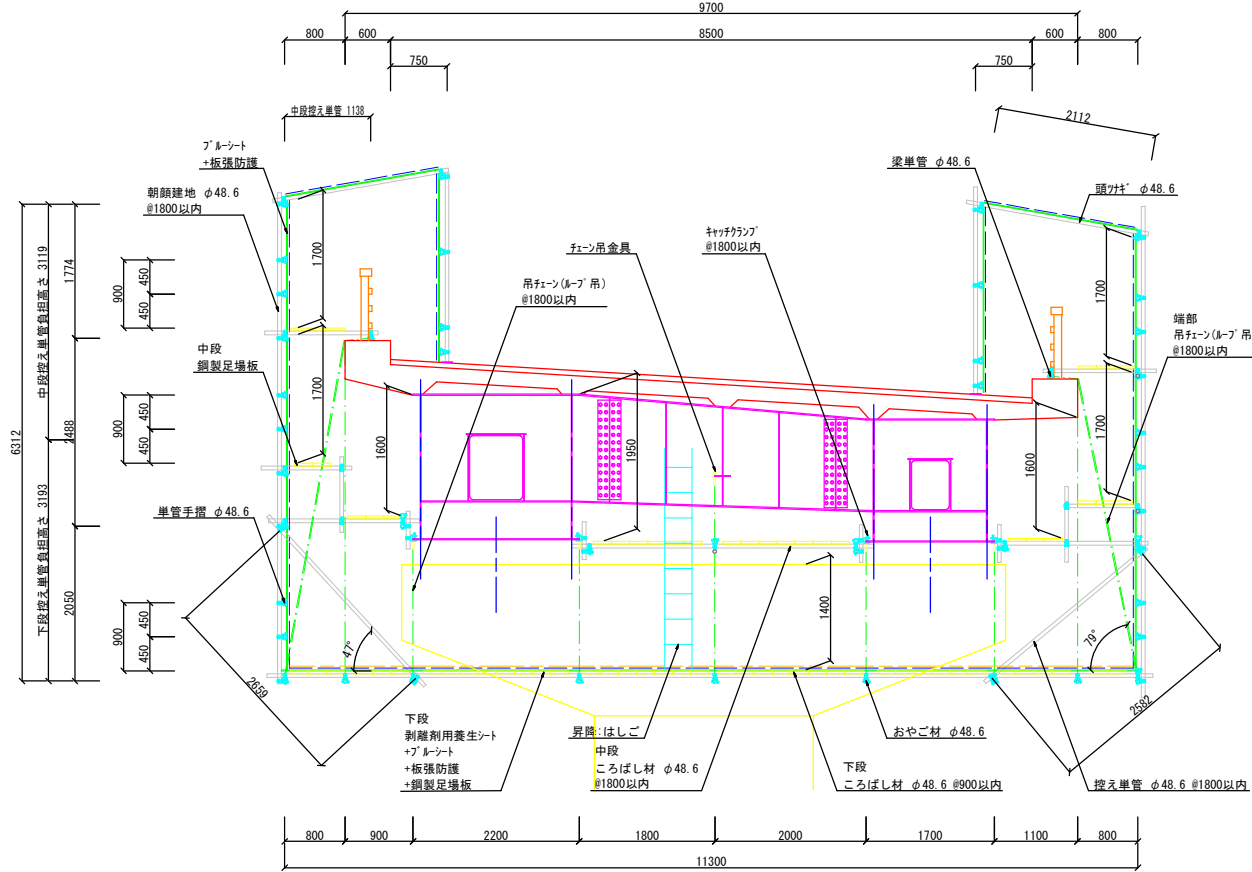
【橋桁】

断面図 S=1/50
(A3版 S=1/100)

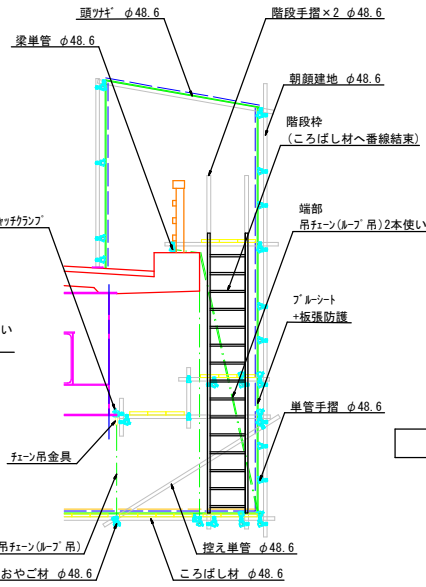


【P1橋脚】

断面図 S=1/50
(A3版 S=1/100)

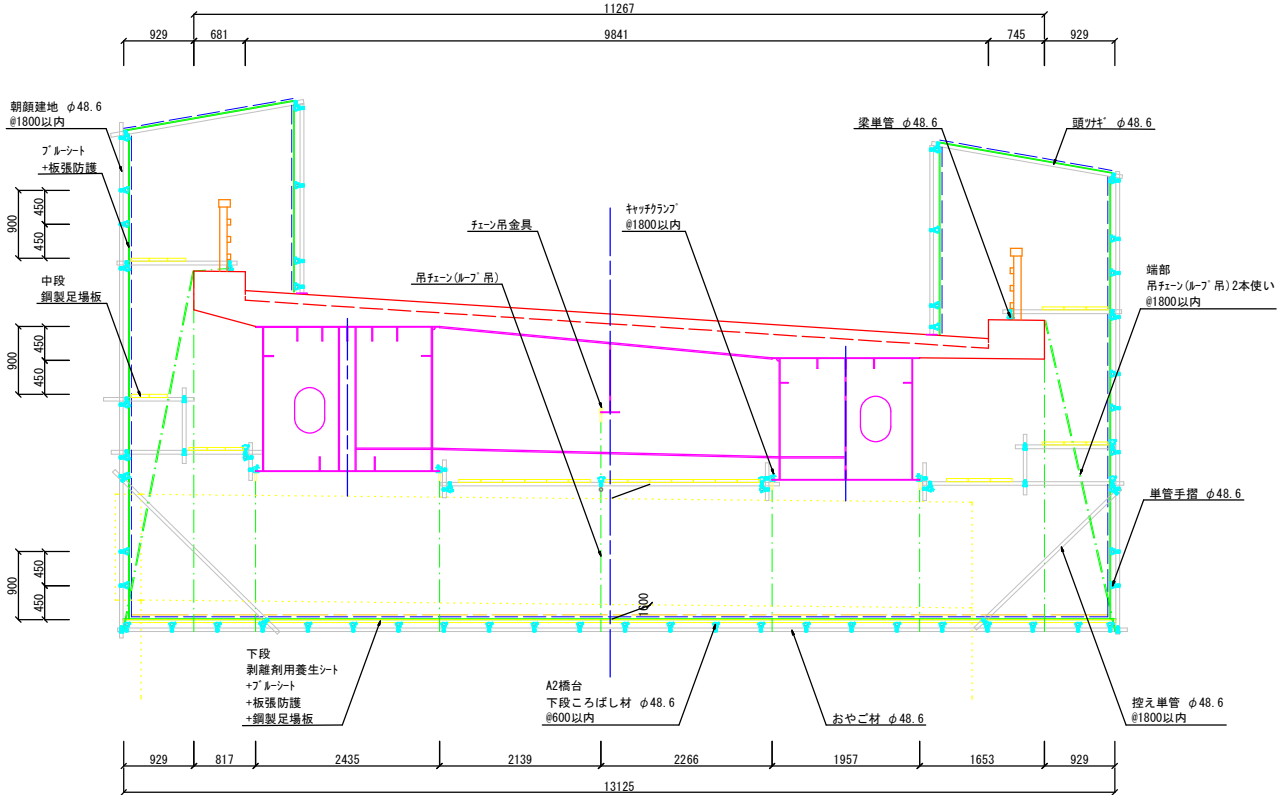


昇降設備部詳細図 S=1/50
(A3版 S=1/100)



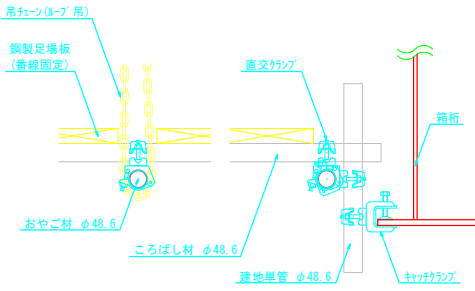
【A1橋台】

断面図 S=1/50
(A3版 S=1/100)



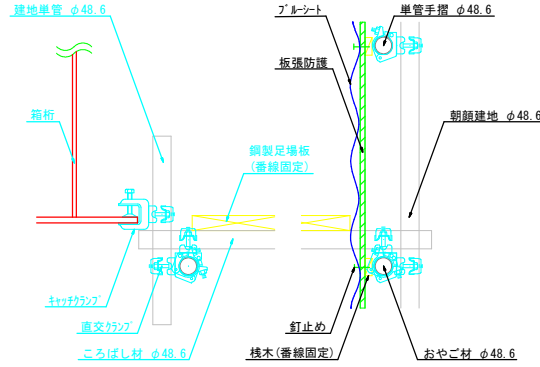
【中央部】

中段足場 詳細図 S=1/10
(A3版 S=1/20)

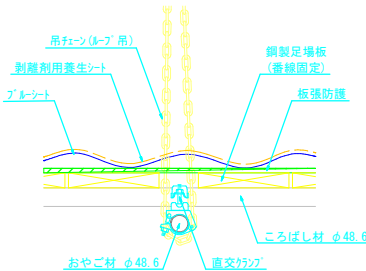


【端部】

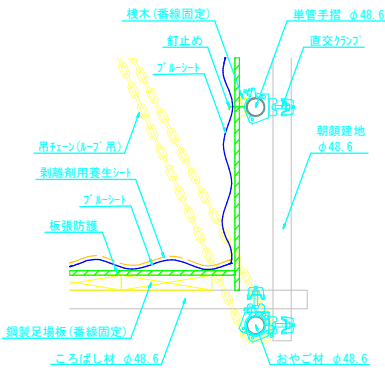
中段足場 詳細図 S=1/10
(A3版 S=1/20)



足場チェーン吊り部 詳細図 S=1/10
(A3版 S=1/20)



吊足場端部 詳細図 S=1/10
(A3版 S=1/20)



控え単管 詳細図 S=1/10
(A3版 S=1/20)

